



しょうぼうねこ

エスター・アベリル 作 藤田圭雄 訳 文化出版局

アウエ

黄色くて黒いぼつぼつ模様のねこ、ピクルズ。ピクルズはいつも何かすてきなことをしてみたいと思っていました。ある日、木からおりられなくなったピクルズを、消防車が来て助けてくれました。消防署で飼われることになったピクルズは……。

スイミー

レオ=レオニ 谷川俊太郎 訳 好学社

レオニ

広い海に住む小さな魚、スイミー。きょうだいたちはみんな赤い色をしているのに、スイミーだけは真っ黒でした。でも、泳ぐのはだれよりも速かったのです。そんなある日、大きな魚がきて……。教科書でもおなじみの絵本です。



すてきな三にんぐみ

トミー=アンゲラー さく いまえよしとも やく 偕成社

ウンケ

黒マントに黒いぼうしの三人組のどろぼうのおはなし。ある夜、三人組は、宝のかわりにティファニーちゃんを連れて帰ります。宝に気づいたティファニーに、「これどうするの?」と聞かれた三人組のすてきな決断とは……。

ぞうのパパール

ジャン・ド・ブリュノフ さく やがわすみこ やく 評論社

フリユ

大きな森の国で、小さなぞうが生まれました。名前はパパール。はじめて人間の町にやってきたパパールは、見るものすべてにびっくり! ぞうの言葉がわかるおばあさんと暮らしますが……。シリーズは、全部で10冊あります。



だいふくもち

田島征三 作 福音館書店

タシマ

貧乏なごさくの家の床下に、何百年も住み着いただいふくもちがいました。ある時、だいふくもちにあずきを食べさせると、次々とだいふくもちが飛び出してきたからびっくり! これを売って商売を始めたごさくでしたが……。

ためきのおつきみ

内田麟太郎 作 山本孝 絵 岩崎書店

ヤマモ

季節は秋。今年は豊作。ためき山のためきたちは、豊作のお礼をお月さんにしようと、お月見の日に大忙し。畑からおいもを頂戴し、田んぼからお米を頂戴し、よかべべを着て、お化粧をして……。さてさて、お月さんは喜んでくれるでしょうか。



ちいさいしょうぼうじどうしゃ

ロイス・レンスキー ぶん・え わたなべしげお やく 福音館書店

レンス

スモールさんとちいさい消防自動車は、いつも消防署にいます。出動のベルが鳴りました。スモールさんは、すべりぼうをすべりおり、ヘルメットをかぶり、防火服を着て出動です。勢いよく、ちいさい消防自動車が発進していきます。

つきのぼうや

イブ・スバング・オルセン さく・え やまのうちきよこ やく 福音館書店

オルセ

お月さまが夜空にのぼりました。ふと下を見ると、池の中にもうひとりのお月さまがいました。お月さまは、お友だちになりたいと思い、つきのぼうやにもうひとりのお月さまを連れてきてほしいと頼みます。さあ、つきのぼうやの冒険の始まりです。



でこちゃん

つちだのぶこ さく・え PHP研究所

ツチタ

明日は幼稚園。でこちゃんは、お母さんに髪の毛を切ってもらいます。ちよき、ちよき、ちよき。おやおや、切り終わったでこちゃんは、なんと「でこちゃん」に大変身! でこちゃんのおでこを見て、家族はみんな大笑い。前髪、明日までにのびるかな?

ドアがあいて

エルンスト・ヤンドゥル 作 ノルマン・ユング 絵 斎藤洋 訳 ほるぷ出版

ウンケ

病院の待合室。みんなは、心配そうな顔つきで順番を待っています。ドアがあいて、ひとり、またひとり診察室へ入っていきます。待っているのは、とうとうぼく一人……診察室には、どんな先生がいるのでしょうか。



ちょっとひとやすみ ⑥

いろいろな分野の本を読んであげていたつもりなのに、絵本の好みが出てくることに驚かされます。うちの子は、車の絵本が大好き。何年もの間、宝物のようにどこへ行くにも一緒に、じっと見ていた絵本が『はたらくじどうしゃ』でした。しっかりと描きこまれた車たちに、大人も学ぶところがあります。子どもの好奇心や興味を知り、疑問と発見、そして驚きを親子で共感してください。

